



ごあいさつ

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

組合員並びにお取引先の皆さまに当組合の経営内容をお伝えし、より一層のご理解を深めていただきたく本誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当組合は昭和27年に創立以来、堅実・健全経営に努め、地域の皆さまから愛され親しまれ、信頼される金融機関を目指してまいりました。おかげさまで業容も健全性を確保し、今日の揺るぎない経営基盤を築きあげることができました。

これもひとえに皆さまのご支援の賜ものと深く感謝いたしております。

さて、平成 27年度の我が国経済は、アベノミクスの各種経済政策から雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下等により交易条件が改善する中で、緩やかな回復基調が続きました。9月には、民需主導の経済の好循環を確立し、誰もが活躍できる「1億総活躍社会」の実現に向け、「新三本の矢」である「希望を生み出す強い経済」「夢を紡ぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の第二ステージに移行しました。

しかし、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速や欧米の金融施策等により、輸出・生産面を中心に景気の下振れリスクが懸念され、日本銀行はデフレ脱却、物価安定の目標の実現を目指してマイナス金利付き量的・質的金融緩和を実施しました。

また、県内の景気は、雇用や設備投資に底堅い動きが続き、緩やかに回復しているところですが、当組合の主要地盤では、人口減少や高齢化といった従来からの構造的な問題を抱え、取引先である中小・零細企業は、国内市場の縮小や人材不足、設備の老朽化など、様々な環境変化や課題が健在化してきている状況であります。

このような環境ではありますが、当組合はこれからも一層の健全経営に徹し、“夢あるくらしのパートナー”をモットーに地域の皆さまと共に歩み、地域と共に発展する信用組合を目指して役職員一同さらに努力を重ねてまいります。

今後とも尚一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月

理 事 長 勢 戸 堅 祐